

今年こそ、焼かない！ “塗る”、“飲む”の次なる一手 新時代の紫外線対策は、“貼る” UV ケア

～ UVブロック率約 97%*1 フィルム美容「FILMOR(フィルモア)」～

いよいよ紫外線シーズン到来。紫外線は、5月頃から本格的に強くなり、そのまま真夏へむけてますます増えていきます。日差しはまだまだ夏には程遠いと思っても5月以降から真夏並みのレベルへ。まさにこの時期からの本格的な紫外線対策は必須です。

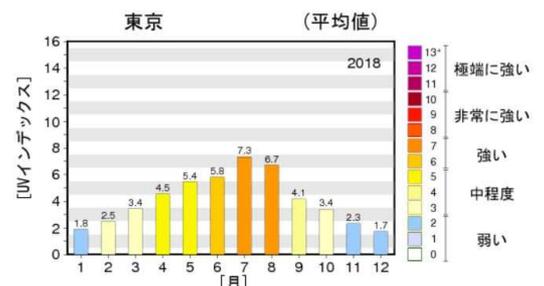
紫外線からお肌を守る UV ケアは、少しでもスキのない UV ケアを目指して年々進化しており、様々なアイテムや新しいアプローチが続々登場しています。最近では、クリームなどに代表される“塗る”日焼け止めでは、肌にマイクロレベルの膜を作ってガードするものや、表情にあわせて塗った膜が伸縮するもの、汗や水に触れると UV 防御力が高まるものが登場したり、形状も、クリームやジェルタイプのものから、スティック、スプレー、パウダーなどスキのない UV ケアを実現するため、塗り直しやすさやムラのできにくさに特化した工夫も多くみられます。

また、敏感なお肌への負担を意識し、肌にやさしい処方や成分を使用したものも注目が高まっています。更には、「塗り残し」という概念すらなくなるような“飲む”日焼け止めとして、サプリメントなどカラダの中からケアするものも増えています。

一方で、“塗る”タイプはどうしても擦れや、汗などで落ちてしまったり、日中の塗り直しがなかなか難しかったりすることも・・・。

そこで、今年こそ焼きたくない人や、気になる部分を徹底ガードしたい人にオススメの次なる紫外線対策は、“貼る”UVケアです。これまではケアしきれなかった気になるシミや、これから出てきそうな未来のシミ、ニキビ跡、敏感になっている部分などをピンポイントで紫外線から徹底ガードできる、この夏を過ごすのに最適な新アイテム「フィルム美容」をご紹介します。

*1 UVブロック効果は自社調べ



出典：気象庁 日最大 UV インデックス (解析値) の年間推移グラフ (2018年 東京 月別の平均値)

50年間、医療テープを作り続けてきた老舗メーカーが開発した、7ミクロンの鉄壁 UV ケア「FILMOR」

医療用テープを50年作り続け、防水・固定テープのリーディングカンパニーを誇る老舗メーカーの技術から生まれた、新タイプの美容アイテム「FILMOR(フィルモア)」。約97%のUVブロック率*1を実現し、薄さわずか7ミクロン(卵の薄皮の10分の1)の透明・極薄のUVブロックフィルムです。顔やカラダの気になる部分に“貼る”だけで、肌にぴったりフィットして、紫外線をはじめ髪や手の接触など、さまざまな刺激から肌を守ります。

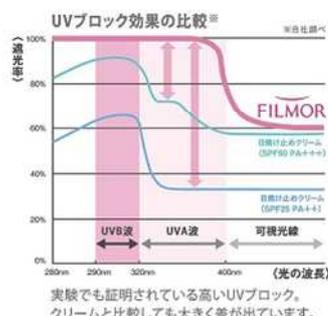
フィルムだからこそ、クリームなどのように塗り直しの手間もなく、擦れにも水にも強いので、1日中 UV ブロック効果が落ちることなく、お肌を守ります。

*1 UVブロック効果は自社調べ



注目ポイント1 紫外線を約97%ブロック！高いUVブロック効果が貼っているあいだ中ずっと続く

メラニン生成・色素沈着の原因となる、紫外線を約97%ブロック。日焼け止めクリームと比べても、高いUVブロック率を実現します。



防水加工で肌を守り、水に濡れても効果が落ちることはありません。また、汗や皮脂、衣類との摩擦などにも強く安心です。1日中、肌を紫外線から守ります。

日焼け止め効果の比較実験結果

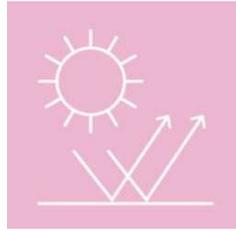


日焼け止めクリームと比較すると、その違いは一目瞭然！
* FILMORは貼ったまま、日焼け止めクリームは2時間ごとに塗りなおし、8時間屋外にて実験。

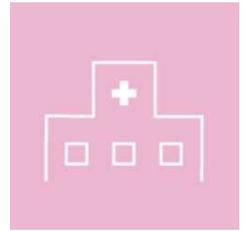
注目ポイント2 医療現場から生まれたフィルムだから、安心。敏感なお肌を外部刺激から守ります

“塗る”のではなく、“貼る”フィルムなので、強いUVブロック成分や空気中の汚れ、刺激物、髪や手などの刺激が直接肌へ伝わりません。

敏感な状態の肌へ直接日焼け止めを塗ったりメイクすることに抵抗がある方にもぴったり。



もともと医療用に皮膚の保護材として使用されているフィルムから、生まれました。だから気になる部分や敏感な状態の肌にも安心。フィルムなので、UVブロック成分が肌に浸透せず、はがせば成分が肌に残らないのも肌に優しいポイント。



注目ポイント3 わずか7ミクロンの薄さで、まるで付けていないような感覚と見た目。メイクなじみもGOOD

薄さ7ミクロン（卵の薄皮の10分の1の薄さ）の透明フィルムで、どんな肌の色にもぴったりフィット。肌の表面に似せた独自加工で、素肌に貼るだけでもすぐに馴染みます。汗を蒸発させ、いつでもサラサラの快適な貼り心地。



貼った上からメイクをしていただくとさらに自然な仕上がりに。パウダータイプ、リキッドタイプどちらにも対応OK。中心から外側に向かって伸ばしていくと端にたまりにくく目立ちません。



※写真はフィルムが見えやすいように加工しています。実際はほとんどわかりません。

◆おすすめ使用例◆

屋外で、強い紫外線が心配なとき・・・

こまめな塗り直しができない屋外シーンは、知らぬ間に日焼け止めが取れてしまってうっかり日焼けをしたり、肌に深刻なダメージを与えます。ランニング・ゴルフなどの汗をかきやすい“スポーツシーン”、BBQ・フェス・キャンプなど長時間の“アウトドアシーン”、海・プールなど“水に入るシーン”では、水に濡れてもタオルで擦れても、落ちにくい“貼る”UVケア「FILMOR」のご使用がおすすめ。

肌のゆらぎやトラブルも気になる方に・・・

重ねると、メイク崩れが早くなる・・・とわかっていても、いつものベースメイクに加えて、日焼け止めを使う人が増えるこれからの季節。また、“崩れない”UV製品や重ね塗りは、つけている時も、落とすのも大変で肌への負担も大きくなります。“貼る”UVケア「FILMOR」を使用すれば、クリームを塗り重ねる必要がないのに、気になる肌の部分をピンポイントで守りながらカバーすることができて、軽やかな肌で過ごすことができます。「SPF数値の高いものの普段使いは肌への負担が心配・・・」という方は、気になる部分のピンポイントケアを取り入れてみては。また、何度も重ねる手間や、日中のお直しの時間も短縮できるから時短ケアもかかります。

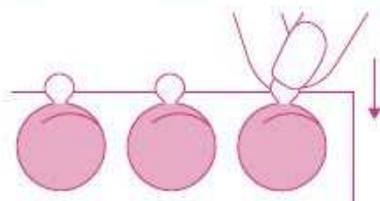
気になる部分を今年こそ徹底ガードしたい方に・・・

クリーム、ジェル、ローションなど、バリエーションや使い勝手など選択肢も増えた日焼け止め。“塗る”だけではなく、“飲む”対策も話題です。一方で、メイクやスキンケアのように、“ファンデーション×コンシーラー”、“美容液×部分用美容液”のように、全顔×ピンポイントでケアできるアイテムがあまりない、という現実も。「浮き出てきたシミをこれ以上広げないために重点的にUVケアしたい・・・」という方こそ、今年は、全顔はクリームなどの日焼け止め×気になる所はトレンドのUVコンシーラーやフィルム美容の「FILMOR」のようなポイントケアの、“面”×“点”の合わせ技という、これまでの紫外線対策の一步先をご提案します。

◆使用方法◆

◆ご使用方法

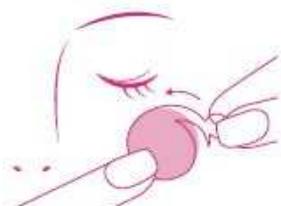
- 1** 外に飛び出た丸いタブを持ち、台紙からゆっくりはがします。
極薄フィルムのため、乱暴にはがすとシワになる恐れがあります



- 2** 貼りたい箇所へ貼り付け、30秒ほどしっかり肌へ馴染ませます。



- 3** 保護フィルムの中央を指で押さえながら、もう一方の手でつまみをもってはがします。



- 4** フィルムが浮かないよう、再度肌へしっかり馴染ませてください。



◆製品概要◆

製品名：FILMOR（フィルモア）

テープサイズ：直径 M/1.5cm、L/2.3cm

価格：M/24枚入り 2,400円、56枚入り 5,000円（税抜）

L/18枚入り 2,400円（税抜）

販売先：FILMOR 公式ショップ <https://filmor-shop.jp/SHOP/281170/list.html>

公式ウェブサイト：<https://filmor.jp/>

公式 Instagram：@filmor_official (https://www.instagram.com/filmor_official/)

公式 Facebook：@filmor.official (<https://www.facebook.com/filmor.official/>)

■本資料に関する報道関係者からのお問い合わせ先：

FILMOR PR 事務局：株式会社プラップジャパン 福島、渡部

TEL：03-4580-9103 FAX：03-4580-9129 MAIL：filmor_pr@prap.co.jp

■ご掲載時のお客様からのお問い合わせ先

株式会社 共和 お客様相談室：06-7670-7112